

所定疾患施設療養費（Ⅰ）の算定状況

※令和6年4月より、所定疾患施設療養費（Ⅰ）→（Ⅱ）への算定変更がございますので、お知らせ致します。

令和5年度 算定状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

疾患名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月														
尿路 感染症	治療件数（件）	2	3	3	2	2	0	2	0	4	3	2	2	25
	治療日数（日）	11	12	19	11	14	0	14	0	9	11	9	6	116
蜂窩 織炎	治療件数（件）	0	0	0	1	2	2	0	0	0	1	1	0	7
	治療日数（日）	0	0	0	7	14	8	0	0	0	7	7	0	43
帯状 疱疹	治療件数（件）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	治療日数（日）	0	0	0	0	0	0	5	0	0	7	0	0	12

算定要件

- ① 所定疾患施設療養費は、肺炎等により治療を必要とする状態となった入所者様に対し、治療管理として投薬、検査、注射、処置等が行われた場合に、1回に連続する10日を限度とし、月1回に限り算定するものであるため、1月に連続しない1日を10回算定することは認められないものであること。
- ② 所定疾患施設療養費と緊急時施設療養費は同時に算定することはできないこと。
- ③ 所定疾患施設療養費の対象となる入所者の状態は次のとおりであること。
 - イ) 肺炎(検査を実施した場合に限る)
 - ロ) 尿路感染症(検査を実施した場合に限る)
 - ハ) 帯状疱疹
 - ニ) 蜂窩織炎
 - ホ) 慢性心不全の増悪
- ④ 算定する場合にあっては、診断名、診断を行った日、実施した投薬、検査、注射、処置の内容等を診療録に記載しておくこと。
- ⑤ 請求に際して、診断、行った検査、治療内容等を記載すること。
- ⑥ 当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表することとする。
公表に当たっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告すること。